

読む人の幸せを心に願って作る

喜びの夕ネまき新聞

No.
629

〈時間を追っていく〉

今年、新型コロナウイルス感染症の予防対策のため、予定されていたイベントなどが軒並み中止や延期、縮小となりました。例年は、各地の風物詩であるお祭りなどにより季節の移り変わりを感じていましたが、今年は気温の変化で季節を感じています。

仕事では在宅勤務が推奨され、県外への移動や食事会などが制限されることもあったため、人と会話する機会が少なくなり、日々の過ごし方も大きく変わりました。

以前は、一日があつという間に終わってしまふほど時間に追われていましたが、今年は時間の経過が遅く感じます。これは「日常の変化が少ないからかな？」と思い、時間の使い方を見直してみること。今までの日常ではできなかったことを一週間単位でスケジュール化し、その予定に沿って行動するようになりました。

人は環境に慣れてしまうと、新しい事を始めるのがおっくうになります。そんな時でも、自ら時間を決めて計画的に行動することで、やる気や意欲の維持ができるのではないかと思います。

時間に追われるとストレスを感じることもありますが、置かれた状況の中でもできることを考え、時間に追われるのではなく、時間を追っていくように行動したいと思います。



北海道

函館のクリスマス

※イラストはイメージです

株式会社ダスキン社長

山村輝治



白樺が連なる八雲町のパノラマロード



千代昇さん(中央)と木彫り熊講座の受講生の皆さん



鮭を背負ったりバットを持ったりと、八雲の木彫り熊はユニーク



八雲町の人々の手によって百年近く技術が受け継がれている

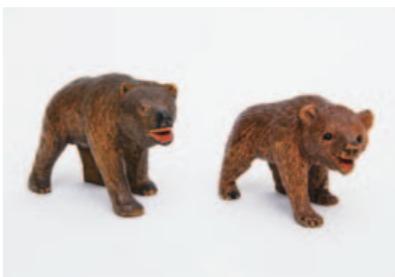


優しい表情と愛嬌で
愛され続ける

八雲木彫り熊

人々の思いが紡いだ
木彫り熊の歴史

北海道土産として有名な木彫り熊。道内いくつかの場所で作られています。中でも「二海郡八雲町は大正時代から続く長い歴史を持ちます。八雲町の発展に尽力した尾張徳川家の当主・徳川義親よしかちかが、欧州旅行の際スイスで木彫り熊の民芸品を見つけ、「これを農閑期に作れば人々の生活が潤うはずだ」と制作を奨励したことから始まったそうです。木彫り熊の歴史に詳しい「八雲町木彫り熊資料館」の大谷茂之しげゆきさんは、「徳川義親公は」



北海道木彫り熊第1号(左)は、スイスの木彫り熊(右)を見本に作られた(八雲産業管理資料)



「毛彫り」という手法で、流れるような毛並みが表現された木彫り熊

を褒め合ったりと和やかな笑顔が広がります。

「八雲町では毎年秋に町の文化祭があり、受講生が作った熊が展示されます。木彫り熊は昔から当たり前のようにな身近な存在でしたが、文化祭で千代先生とお会いし、初心者でも作れると聞いて彫り始めるようになりました」と生徒さん。千代さんを囲む皆さんの笑顔からは、かつて徳川さんが願ったように、木彫り熊を通して人々が心豊かに交流されていることが見受けられます。

愛らしく、どこか人間味を感じる八雲の木彫り熊。「酪農が盛んな八雲町は牧歌的で、海も湾に囲まれて穏やか。そんな町に暮らす町民の温和な人柄も表れているのではないのでしょうか」と千代さんが語るように、人々の温かさが木彫り熊の優しい顔立ちに表れているようでした。

ろで木彫り熊に出会います。木彫り熊と言えば、鮭をくわえた荒々しい姿を思い浮かべるかもしれませんが、八雲町の熊はふくよかで、どこか優しい顔つき。楽器を弾く姿など擬人化しているのはスイスの民芸品に影響を受けたからと言われ、また、その昔、徳川さんが捕まえた子熊2頭を町民たちが皆で育てていたため、その人懐こい様子を表現したからとも伝えられています。

世代を超えて
町民の心をつなぐ

戦後、八雲町では彫り手が一人になつて技術が途絶える危機に面しましたが、木彫り熊を町の財産として残したいという町民の思いから、昭和46年より「木彫り熊講座」が始まりました。現在は、木彫り熊の名人である千代昇ちよのぼるさんが講師を務め、町内の中学生から60代までの8人が4月～11月の隔週の週末に集まって制作に励んでいます。千代さんは「彫り進めるスピードは人それぞれですが、完成が近づき、木の塊から熊の姿が見えてくると皆さんの目が輝いてくる」と語り、一人ひとりに寄り添い、手助けをしながら一緒に完成を目指しています。

集中して黙々と彫り進める講座の時間が終われば一転、おしゃべりの時間に。年齢や性別、立場に関係なく、同じ木彫り熊という趣味を持つ者同士で彫り方を尋ね合ったり、互いの作品



八雲木彫り熊のふるさと 北海道二海郡八雲町

北海道南西部の渡島半島に位置し、太平洋と日本海の2つの海を持つ町。農業と漁業が盛んで、特に徳川義親が導入した酪農業は現在も道南随一の規模を誇る。バター飴の発祥地としても知られている。



台所の相談室

今年も、残すところ後わずか。賑やかなイベントもいけれど、食卓をちよっぴり華やかに飾って大人のクリスマスはいかがですか。

FILE 13

食材の彩りや器など 少しの工夫で特別感アップ！

私も50代半ばにさしかかり、同じような悩みを抱えながら台所に立っています。ただ、毎日あつさりしたもの、シンプルな料理ばかりではやはり味気なく なって、作るのも食べるのもおっくうになりがちです。

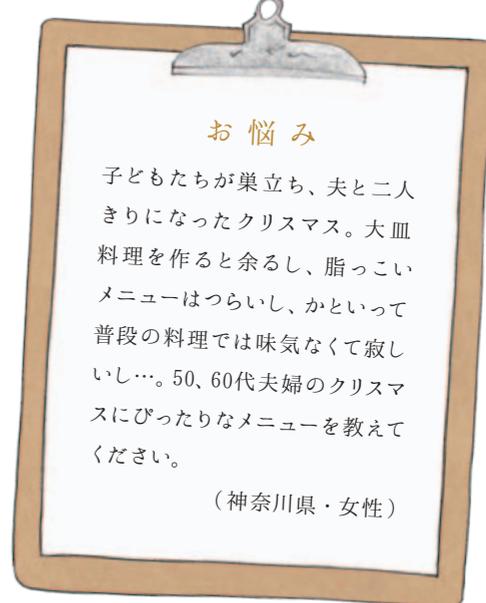
日本の暦には一年を通して行事があり、その都度食事を楽しむ習慣がありますから、お祝い事などにはその日の特別料理を作ると普段の献立にメリハリが出ます。行食事は手が掛かる分、家族が喜んでくれますから、また頑張って作ろうと思います。私にとっては、励まされる料理でもあるんです。

そんな時こそ、クリスマスのようなイベントで食卓を華やかにしてみましよう。彩りの良いカラフルな野菜を使ってみたり、野菜を丁寧にかく切ってみたり、一人分ずつお皿に盛り付けて、テーブルをセットするうちに気持ちが上がってきます。



ひだかずを 飛田和緒さん

料理家。1964年、東京都生まれ。独自のアイデアレシピが人気。新刊の『いちばんおいしい野菜の食べ方』(オレンジページ)を始め、著書多数。



お悩み
子どもたちが巣立ち、夫と二人きりになったクリスマス。大皿料理を作ると余るし、脂っこいメニューはつらいし、かといって普段の料理では味気なくて寂しいし…。50、60代夫婦のクリスマスにぴったりのメニューを教えてください。
(神奈川県・女性)

Answer Recipe



クリスマスチキン

材料(2人分)

- 鶏もも肉……………200g×2枚
- 塩、こしょう……………適量
- オリーブオイル……………大さじ1
- にんにく……………1片
- カラーピーマン(粗みじん切り) ……2~3個
- ワインビネガー……………小さじ2

※下処理の塩は肉の重さの1%が目安。上記量の場合は4g
※カラーピーマンは赤、橙、黄、緑など
※ワインビネガーは酢でもよい

作り方

- 1 鶏もも肉はさっと水洗いし、ペーパーで包んでよく水気を取る。余分な脂や筋を除き、塩をふり、よくなじませる。
- 2 フライパンを熱して、オイルなしで皮面から焼く。余分な脂が出てきたら、その都度ペーパーで吸い取る。しっかりと焼き色が付き、皮がパリッとしたら、返して裏を焼き、皿に取り出す。
- 3 同じフライパンにオリーブオイルを入れて、つぶしたにんにくを炒める。香りが立ってきたら、カラーピーマンを炒め、塩ふたつまみとワインビネガーで味を調える。
- 4 にんにくを除いて③を鶏もも肉にのせ、仕上げにこしょうをふる。



飛田さん、どうも！

鶏肉は下処理をすると味がぐんと良くなります。パックから出してそのままフライパンにのせないこと。まずはさっと水洗いをするだけでも鶏の臭みが取れます。また、フライパンで焼いている間に出てくる脂は、その都度こまめにペーパーで吸い取ること、皮がカリッ、パリッと焼けますよ。

台所のお悩み事をお寄せください。

お料理について気になることや、ちょっとしたお悩みを、飛田さんに相談してみませんか？ お便りをお待ちしています。宛先は裏表紙をご覧ください。



ほほえみのひろば



えびす講



栃木県栃木市 山木 トクさん

娘とえびす講へ行った時のこと。お参りを済ませて縁起物を買った後、寒くて体を温めたくなり、うどんと蕎麦を立食で売っているテントへ入りました。

立って注文を待っていると、お店のスタッフさんが自分が使っていた椅子を貸してくれ、「これで手を温めてください」と、温かい缶のお茶も渡してくれたのです。私が驚いていると、「俺、おばあちゃんが大好きなので気にしないでください」と言われてうれしくなりました。

またあの青年に会えるよう、来年のえびす講にも行きたいと思います。

優しさで心まで温まりますね。また次回も会えますように。

愛犬の茶々丸



富山県滑川市 松本 キミ子さん

ある日、我が家の愛犬・茶々丸と散歩をしていると、近所に住む女の子とお母さんから「茶々丸、ちょっと来て」と手招きされました。その女の子は、大好きな茶々丸がそばにいれば、苦手な目薬の点眼を頑張れるのだそう。無事に目薬をさした後、お母さんが「目をパチパチして」と言つと、女の子は目ではなくかわいい手をパチパチ。愛らしい勘違いに、思わず頬がゆるみました。

散歩をしていると、いつも多くの人が茶々丸に声を掛けてくださいます。近所とのつながりを作ってくれることに感謝しながら、今日も散歩を続けています。

そばで応援してくれるなんて優しい！茶々丸ちゃんは人気者ですね。

自慢のふるさと



北海道千歳市 坪井 信子さん

私のふるすとは、北海道の阿寒摩周国立公園の近くにある小さな町。天然記念物のマリモが生息する阿寒湖をはじめ、神秘的な霧の摩周湖、その湖から湧く水でできたと伝わる神の子池など名所がたくさん。他にも屈斜路湖のほとりでは、地面の砂を掘ると足湯が楽しめる温泉が湧き、釧路湿原はタンチョウ鶴の越冬地としても有名なんですよ。

手付かずの自然が残り、冬も夏も楽しめる自慢のふるさとです。

雄大な自然を背に鶴たちが舞う冬の景色が目には浮かびました。

楓ちゃんとカエデ



長崎県南島原市 梅枝 邦子さん

ある秋晴れの日、小学4年生の孫の楓ちゃんと二人で庭掃除をしました。枯れ葉の上には真っ赤なカエデの葉が落ちていて、「カエデだ！ほらほら、いっぱい。押し葉にしようよ」とカエデを集める楓ちゃん。「楓ちゃんはこんなきれいなカエデと同じ名前を付けてもらって良かったね」と私が言う、「うん！私も大好き」とにっこり。二人で掃除した庭は赤、橙、黄に色付いたカエデの葉が太陽の光をいっぱいを受けて、美しく揺れていました。

カラフルで、幸せに包まれた素敵な秋のワンシーン！

姉の干し柿



兵庫県伊丹市 勝山 直人さん

毎年年末になると、信州に住む姉から手作りの干し柿が定期便のようが届きます。いつも傷がつかないよう、に地元の新聞が詰められているので、それを読んでふるさとを懐かしむのも楽しみのひとつ。

以前、お礼と傘寿のお祝いにと、妻と選んだセーターを贈ったことがあります。とても気に入ってくれたようで、「知人に自慢をしながら、ひじが擦り切れるまで愛用していたよ」と姪から聞いて、胸がジーンとしました。そんな姉が作る干し柿は、私の娘家族も大好物。孫が喜ぶ顔が今から楽しみです。

愛情たっぷりの干し柿が家族の絆をつないでいるんですね。

君津のカラー



千葉県君津市 溝口 和男さん

私の住んでいる君津市は、花の「カラー」の生産日本一と言われています。みんなの共助のためもので、今年も出荷を始めたと言いました。

そして現状に満足することなく、千葉県では新品種の開発にも取り組んでいるそうです。そのことに私も大いに期待が高まっています。ガンバレ、君津！

深い郷土愛が伝わってきます。新品種のお花も楽しみです！

愛のともしび

人はみな、弱くかなしく
さびしいものよ
生きる力は、愛のともしび

思いやり、いたわりあって
相手をせめず
生きるとうとき、愛のともしび

にこやかに、声をかければ
たのしいものよ

生きるよろこび、愛のともしび

ダスキン創業者 鈴木清一

愛の輪通信

ダスキン障害者リーダー育成海外研修派遣事業
第39期研修生 校本友里さん(精神障がい)

アメリカでの研修で得た貴重な経験や気づきをレポートします！



アメリカでまず驚いたのは、相手を褒める言葉や、前向きな言葉遣いをする人がとても多かったことです。スーパーでも会計後には必ず「良い一日を」と声を掛けてくれますし、滞在先で朝ごはんを食べようとしていたら「朝食を楽しんでね」と言われたこともあります。

こうした場面では声を掛けられた側がうれしくなるのはもちろん、声を掛ける側にとっても相手をしたわり慈しむ瞬間になると感じます。そして私も、周囲に対して常に前向きな言葉と想いで接したいと思うようになりました。皆さんも良い一日を！ (次回に続く)



このコーナーについてはダスキン愛の輪基金まで。
☎06-6821-5270 <https://www.ainowa.jp/>

愛の輪は、日本とアジア太平洋の地域社会のリーダーを目指す障がいのある若者に、海外での研修活動を行っています。





あなたのお便りや写真をお寄せください。

皆様からお送りいただいたお話をもとに新聞を作っています。どうぞ、あなたが体験したうれしかったこと、誰かに聞いてもらいたいことなど、身近な話題をお寄せください。

送り先

〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33
株式会社ダスキン広報部
ダスキン「喜びのタネまき新聞」編集室
e-mail: koho4@mail.duskin.co.jp

投稿には、お名前、ご年齢、ご職業、ご住所、お電話番号、現在ご利用のダスキンの店名をお忘れなく。

- 紙面やホームページで紹介させていただいた原稿や写真には、ささやかなお礼品をお送り致します。
- お送りいただいた作品は、必ずご紹介できるとは限りません。また、作品のご返却は致しかねますのであらかじめご了承ください。

手作りのかんざしで七五三♪



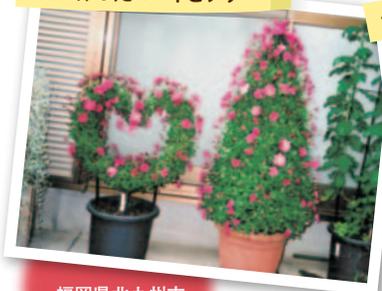
佐賀県小城市馬場三恵子さん

玄関もクリスマス★



石川県羽咋市沢 孝子さん

菊で作ったハートとツリー



福岡県北九州市森本 千種さん

大迫力の吹割の滝!



千葉県富津市藤川 征那さん

サンタクロースと一緒に♪



大阪府岸和田市奥 紀代さん

雪遊び、楽しい!



北海道函館市菅原 美代子さん



読者の皆様からお送りいただいた素敵な1枚をご紹介します。

No.419からのバックナンバーが下記のアドレスからご覧になれます。

<https://www.duskin.co.jp/tanemaki/>



引越しのおそうじにはダスキンモップが便利!

引越しのお手続きは、担当店・Webページ

ダスキンコンタクトセンター 0120-100100 まで



株式会社 **ダスキン**

発行・編集：広報部 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33

【お客様の個人情報のお取り扱いについて】

お客様の個人情報はご投稿の掲載や、今後の紙面制作に利用させていただきます。なお、お預かりした個人情報はダスキングループと加盟店の範囲内で利用させていただきます。配送業務等で個人情報を外部企業に委託する場合は、弊社の厳正な管理の下で実施します。個人情報に関するお問い合わせや、ご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止については、下記の株式会社ダスキン コンタクトセンターまでご連絡ください。

0120-100100 www.duskin.co.jp

59-10C 2020.12 3475800